

学生企画のボランティア活動は、住友商事・東日本再成ユース  
チャレンジプログラムから助成を受けています。

# ボラスステ新聞

2015年度  
第4号

二〇一五年  
七月二十一日  
発行

## たくさん吸収 復興大学現地実習

### Ⅲ 東部仮設住宅

六月十四日。今回の活動は、復興大学のみなさんとの合同ボランティアで、いつも以上に緊張していました。不安のまま、復興大学の皆さんを迎え、まっすぐ行なったのは、彼らと一緒に呼び込み。私は呼び込み自体やることがなく、少し戸惑ってしまいました。

しかし、「自分がまず行動しないと！」と思い、自分から声をかけ一緒に呼び込みをしました。その後は、仮設の方たちとの交流。私たちはあくまでサポート。少し交流をした後、全体の様子を見ていました。すると、復興大学のみなさんは、住民さんとすぐに打ち解けていて、笑顔で交流をしていました。

そんな姿に私は驚き、ぜひ見習いたいと思いました。

そして、ボランティアが終わるまで子どもたちと遊びました。無邪気で可愛い一面を見ることができ、微笑ましかったです。次回、仮設を訪れたときもまた一緒に遊びたいと思いました。

今回の活動は、一年生だけでしたが、一人ひとりが積極的に動き、復興大学のみなさんと協力して、住民さんと楽しく交流できたと感じています。今後も、仮設住宅のボランティアに参加して、交流を深めていきたいと思っています。

(現代社会学科一年 後藤武雄)



## お世話大変!

## 遊んで楽しく学ぶ

### 名取市保健センター

### 5.31 もぐもぐセミナー

参加するのは今回が三回目。昼食として出される恒例のハンバーグは、いつも美味しい。大人用の器と比べるといくらか小さい器。赤ちゃんの離乳食だ。

「パパ、ママ、赤ちゃんのもぐもぐセミナー」。これは、ママたちは大人の食事と同じ食材で作る離乳食の調理を学び、パパたちは赤ちゃんとの遊び方を学ぶセミナーである。私たちは学生は託児のお手伝いをした。「かわいい」と感じるのもちろん、普段できない触れ合いや、責任を持って接することができ、貴重な時間となった。興味のある学生は、ぜひ参加してほしい。

(表現文化学科三年

平塚亜加里)

## 編集 後記

気がつけば7月。2015年もあと半分。「こんなに過ぎるの早かったっけ？」と感じるようになってしまいました。(笑) もうすぐ夏休み。今年の夏は、去年、一昨年以上に楽しいものになりますように。その前にテスト。やることをしっかりやって夏休みを迎えましょう! (表現文化学科3年 渋谷)